

2018年2月21日

第57号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

団体も、地域も3000万署名のテンポアップを確認しました！

日本医労連 3000万署名 3月末、5月3日までの目標を決めて

2月15～16日に開催された日本医労連中央執行委員会で、3000万人署名のとりくみを一気に強めようと、各組織の取り組みを交流、「3月末まで72万筆(2000万人署名到達分)」「5月3日まで100万筆」を集めきることを確認しました。3月15日の統一行動で一気集めるなど、全組合員の力を合わせてやりきります。

東京医労連は、年明けからとりくみ、週報体制もとり21027筆(2月15日現在)集約の報告。東京共同センター作成1枚3.5円の返信用ハガキチラシ1万枚を活用し、ポスティングや街頭宣伝で配布し署名を集めます。

愛知県医労連は、労使共同宣言をあげている名南会労組、北医療生協労組に経営者要請で訪問するので、3000万人署名でも共闘して取り組むことを呼びかけます。

奈良県医労連では、岡谷医療生協労組が労使共同で3000万人署名をとりくもうと定期的に対策会議をおこない、1月30日「戦争に協力しない共同宣言」が締結されました。

岩手県医労連は、改憲についてQ&Aを入れたチラシを作成しました。

兵庫 共同センター拡大代表者会議でテンポアップを確認!

2月13日、拡大代表者会議を開催し、最新の安倍改憲のうごきを確認したうえで、新婦人、兵庫労連、民医連、兵商連、共産党県委員会、革新懇などから詳しい活動が報告されました。

いま、若者たちに起きている変化のなかで、日本共産党と民青などによる学校前宣伝では、特にシール投票で対話が大きく進んでいる経験も確認し合いました。

しかし、13日現在県下全体の集約では、まだ10万筆に届いていません。この到達の打開のため議論、各地域センターとも緊密に連絡をとり、早く10万筆を突破し、目標140万の1割達成を早期に実現させるため、集約テンポのアップを合意しました。

今回は「9条の会」が活発!がんばっています。

昨年の2000万署名当時と違い、今回は多くの市民団体、サークルが署名運動に参加しています。とりわけ、今回は「9条の会」が活発です。須磨区、垂水区、尼崎市、西宮市、西脇市、赤穂市など約15の会で、2月15日現在5000筆を超えました。

「憲法九条の会にしわき」学習深めて立ち上がっています!

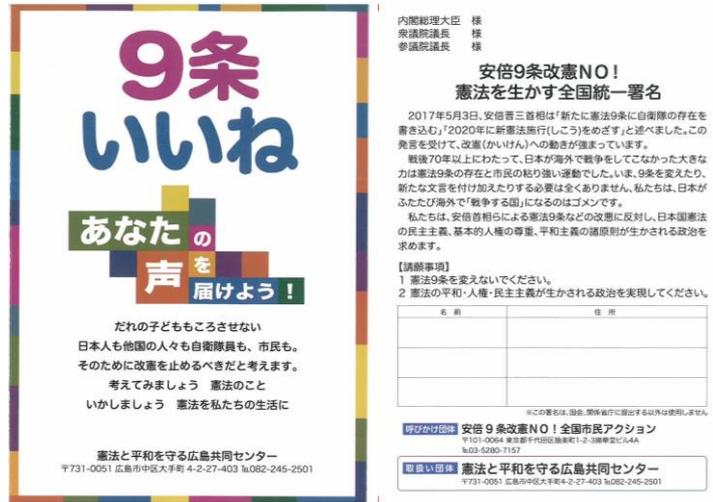
2月4日の新春のつどいには会場いっぱいの人びとが詰めかけました。富田宏治関西学院大学教授による「どう解決する?北朝鮮問題」の講演をしっかり学び、核兵器禁止条約を締結できる政府の樹立、「安倍改憲NO!」3000万署名の成功を合意。(憲法改悪ストップ兵庫県共同センター週刊ニュースより)

広島県労連 3000 万人署名ハガキ付リーフを作成し、さっそく総がかり広島市行動で配布

広島県労連は、「3000 万人署名ハガキ付リーフ」を 10 万枚作成し、このリーフを活用して県内で運動を大きく広げようと頑張っています。

2 月 3 日「戦争させない・9 条壊すな！ヒロシマ総がかり行動実行委員会」の署名・宣伝行動が 14 時から 1 時間行われました。市内中区本通電停には 1000 人委員会、八丁堀交差点には憲法と平和を守る広島共同センターや 9 条の会のメンバー約 40 人が集まり、うたごえを交えて署名への賛同を訴えました。八丁堀では、ハガキ付リーフがさっそく配布され、通り過ぎようとした人が「9 条いいね」の文字にひかれたのか、立ち止まってリーフを受け取る光景も。国会が始まり、マスコミでも「憲法改正」が報道され始めたこともあり、家族連れなどが署名に応じ、125 筆も寄せられました。この行動に、自治労連、全教広島、年金者組合、県労連 OB などから参加いただきました。

(広島県労連 署名推進 NEWS より)



他団体も3000万署名のとりくみを広げています!

日本のうたごえ全国協議会

全国 44 県のうたごえ協議会の代表者と日本のうたごえ全国協議会役員など 51 人のよびかけで、「安倍 9 条改憲 NO! 全国うたごえアクション」を結成し、3000 万人署名推進に全力です。

目標は、5 月までに組合員 1 人が 5 筆ずつ 2 万 5000 筆。具体的な行動としては、「改憲 NO! うたごえ会」や「憲法カフェうたごえ会」、憲法を改悪させない、憲法を活かす創作曲づくり、街頭・駅頭署名行動を全国津々浦々でとりくむ、創立 70 年目の記念日・2 月 10 日を全国いっせい行動日として、各地で署名行動を展開しました。

また、国内の音楽家、音楽関係者、プロ・アマ問わず音楽を愛する人たちに呼びかけて、「戦争法に終止符を！音楽人・団体の会」の賛同と入会を呼びかけています。

日本 AALA(アジア・アフリカ・ラテンアメリカ)連帯委員会

安倍 9 条改憲を許さないたたかいを日本 AALA として、どうすすめるか、東南アジアの国々と連帯した活動ができないかなど話し合っています。

2 月 15 日(木)に日本 AALA は、安倍首相と駐日アメリカ大使館に対して、声明「朝鮮半島の南北対話を歓迎し、恒久平和のための努力を求めます」(HP 参照)を送付しました。各都道府県の AALA も送付をしています。

いま、各地で北朝鮮問題の学習会が開かれています。関西では、大学生や若い世代が多数参加するなど好評で、東京でも来週から、三鷹、杉並などで学習会が予定されています。詳しくは、HP を参照してください。

自民党の改憲案のねらいを船田氏があげすけに語る「2 段階改憲」→憲法第 9 条 1、2 項残し自衛隊を明記した後に、2 項削除へ

自民党憲法改正推進本部の船田元・本部長代行が国会内の集会にビデオ出演し、「2 段階改憲」の狙いを語りました。

憲法第 9 条の 1、2 項を残すのは、「2 項を外すとすると自衛隊の役割・機能が無限に拡大してしまうという恐れを国民に与えかねない」と、国民の警戒緩和の意図を語りました。さらに、「…2 回目以降の憲法改正で、国民も我々も手続きに慣れてきたところで将来は 9 条 2 項を外すことにしたらどうか」と「2 段階改憲」のシナリオを話しました。これは、改憲右翼団体「日本会議」のシナリオと全く同じです。

